



社会福祉法人
サンフレンズ 地域福祉推進室広報紙

〒167-0023 東京都杉並区上井草 3-33-10

☎ 03-3394-9833 Fax 03-3394-9834

メール hozumi-kaneko@3friends.or.jp

ホームページ <http://www.3friends.or.jp/>

2014(平成 26)年 12 月 25 日発行 第 20 号 (毎月 25 日発行)



大正琴杉友流 (さんゆうりゅう) を創設

村田英雄さんの歌った『人生劇場』等、古賀政男さんの作品で耳にしたことのある、あの懐かしい音色…。大正琴は、その名の通り大正時代にタイプライタにヒントを得て日本で発明され、家庭用に普及した楽器です。左手の指でピアノのように鍵盤を押し、右手でギターのように弦をはじきます。鍵盤には数字がふってあり、楽譜にある数字を追って順に鍵盤を押していけば、すぐにメロディーが弾けてしまうので、お玉杓子(音符)が読めなくても大丈夫。麻雀やパソコンと同じく、指を動かしたり、指先に刺激が与えられるなどの点から、高齢者の心身の健康維持や認知症予防に良いと言われています。

社会福祉法人サンフレンズは、この大正琴を高齢者の元気づくり活動に取り入れ、地域貢献事業として大正琴講座・大正琴クラブの運営・支援をおこなってまいりました。この活動をさらに楽しく拡げていくために、2014年12月1日、大正琴杉友流(さんゆうりゅう)を創設しました。

大正琴杉友流・初代総師範 金子穂純

社会福祉法人サンフレンズでは、この地域貢献活動への協力者・寄付者・スポンサーを募集しています。

大正琴杉友流が目指すもの

大正琴を弾くこと、聴くこと、歌を歌うことを通じて、

- ①高齢者の元気と意欲をつくります。
- ②人と人のふれあいをつくります。
- ③地域のつながりをつくります。



大正琴杉友流の特色

①楽しく弾く遊び心を大切に

各講座では、それぞれの参加者の上達レベルに応じた練習指導をいたします。ただし、上手く弾けるようになることを目標にするのではなく、楽しく弾く遊び心を何よりも大切にします。初心者・経験者、上手・下手にかかわらず、また大正琴を弾けずとも、音楽が好きな方なら誰もが参加できる場にします。

②弾き方は自由、初めての人でも弾けます

生徒さんの大半は高齢者になってから大正琴に初めて触れる方。耳が遠い人も、目が見えにくい人も、認知症を患っている方もいらっしゃるため、他流派のように基礎訓練からコツコツやるのではなく、簡単な曲を弾いてみて、弾けた喜び、楽しさを感じていただくことから始めます。『日の丸の旗』『チューリップ』『きらきら星』…。初めての方でも、その日のうちに弾けるようになっているはずです。

楽器の構え方も、左手の鍵盤の指使いも、右手で弦をはじく方法も決まった形にはしません。楽譜も市販のものは使わず、極力簡素な表記とし、参加者からのリクエストに応じて手作りで作成・配布します。

③楽器の調整・購入支援

大正琴はお貸しします（持ち込みも可能です）。調弦、弦の張り替え、修理、また楽器の購入についてもお手伝いいたします。

④活動の発表・発信

日頃の練習の成果をお仲間と一緒に演奏し披露する機会を定期的につくります。公開講座・クラブ参加者が一堂に会しての合同演奏会（STO＝サンフレンズ大正琴オーケストラ）も随時開催しています。また、インターネットを使って活動の様子を配信していますので、遠く離れたご家族へのお元気報告にも使えますよ！



2014年10月25日、上井草ふれあいの家で開催した STO

⑤指導者養成・ボランティア募集

活動を広げていくためには、講座やクラブの指導ができるスタッフ（指導者）が揃っていることが必要です。そのため、しっかりした指導ができるスタッフ（師範代）を養成していきます。この12月に2人を師範代として指名。今後も増やしていく予定です。また、一緒に大正琴を弾きながら、準備や後片付けを手伝っていただくボランティアさんも常時募集しています。



総師範：金子穂純



師範代：飯田智志（和泉ふれあいの家）



師範代：手島訓子（永福ふれあいの家）

(2014 年 12 月現在)



●和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31／3321-4808)

月 2 回(水・金曜日／開催日は事前周知)13:30～15:30。参加費 300 円／回

※会場はサンフレンズ上井草（上井草 3-33-10）

毎月第1・3水曜日 10:00～11:30。参加費 200 円／回

毎月第3水曜日 13:30～15:00。参加費 200 円／回

●和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)

●永福ふれあいの家（永福 2-14-20／3327-5811）

●上井草園 (上井草 3-33-10/3394-1094)

●上井草ふれあいの家（上井草 3-33-10／3394-9831）

大正琴杉友流事務局（上井草 3-33-10 サンフレンズ地域福祉推進室／3394-9833）

新しい公開講座会場、クラブ活動支援先を募集中。お気軽にご相談ください。

b ♯ b ♯ b ♯ b ♯ b ♯ b ♯ b ♯ b ♯ b ♯ b ♯ b ♯ b ♯ b ♯ b ♯ b ♯ b ♯ b ♯

連載 **この人・この曲** ～第18回 金子穂純「ノルウェーの森」～

今月は紙面に限りがあるので手短に、このたび杉友流創設にあたって総師範に就任いたしました**金子穂純**（かねこほずみ）が大正琴と出会った時のお話を…。

ギターの他、私はたくさんの種類の弦楽器を持っています。しかし新品で買った物は無く、古道具屋さんや質屋さんなどで安い楽器を見つけては買っているうちに増えたものでして、どの楽器もちょっと遊びで爪弾く程度で上手には弾けません。大正琴は大学4年の時にフリーマーケットで見つけて、500円くらいで手に入れました。

私は、いまでは公開音楽会などで日本の流行歌をたくさん取りあげていますが、この当時は日本の歌なんてほとんど知らない洋楽ロック派。小手調べに最初に弾いたのは、ザ・ビートルズの『ノルウェーの森』。この曲の中でインド楽器のシタールが奏でる、あの印象的なメロディーでした。

ノルウェーの森 (Norwegian Wood) 作詞・作曲：ジョン・レノン&ポール・マッカートニー 演奏：ザ・ビートルズ (The Beatles)

→この曲をYou Tubeで聴いてみよう→<http://www.youtube.com/>



1965年（昭和40年）、**ザ・ビートルズ**の6枚目のアルバム（LPレコード）『ラバー・ソウル』に収録された作品で、リーダーだった**ジョン・レノン**が主として作り、歌いました。曲の前奏や間奏に、インド楽器の**シタール**が使われた（弾いたのはメンバーのジョージ・ハリスン）ことが、ポップスの世界では革新的なことでした。当時の音楽業界の最先端を走っていたザ・ビートルズが使ったこの楽器の幻想的な響きと（西洋音楽を聴いている人にとって）摩訶不思議な音階は、たちまちポップス界のトレンド（流行）となり、多くのミュージシャン達がシタールやインド音階を取り入れた曲を作り始め、やがてこれらがラーガ・ロック（インド風のロック）と呼ばれるようになりました。

この曲『Norwegian Wood』の邦題は『ノルウェーの森』といいますが、実はコレ、**誤訳**なのです。Wood は「森」でなく「木製家具」と訳すのが正しく、ノルウェー製の家具とは、「北欧製の木材で作られた」つまり「高級家具」という意味。その歌詞は、「浮気相手の家に泊まった後に、その家に放火して高級家具を焼いてしまう」というなんと破天荒な内容です。しかし、当時この曲を聴いた多くの日本人は、誤訳された邦題とシタールの幻想的な音色から、ロマンチックな曲というイメージを持っていたようです。1987年（昭和62年）に村上春樹が発表した長編小説『ノルウェイの森』の中でも、主人公がこの曲を聴いて学生時代を回想する場面がありますが、この主人公もきっと同じようなイメージを持っていたのだと思われます。英語という言葉の壁が大きかった当時、聴き手・買い手に曲のイメージを端的に伝えるため、良い邦題がつけられることは商業戦術上とても重要なことでした。ザ・ビートルズの場合は『抱きしめたい』『涙の乗車券』などがそれに当たります。『ノルウェーの森』の誤訳はその逆で、多くの日本人に対して間違ったイメージを植え付けてしまったというわけです。

この原稿を書いている12月8日はジョン・レノンの命日。1980年（昭和55年）のこの日、ニューヨークの自宅前で銃で撃たれ急死。世界中のファンが涙した34年前の悲劇。当時、私はまだ19歳、大学浪人中でした。

出張公開音楽会『SONGS・みんなの声』～地域の方も、ご家族の皆さんもいらっしゃい!～

地域施設・地域団体とのコラボレーション(協働)で、出張公開音楽会を随時開催しています。古き良き時代の歌の数々...、歌のエピソードなどを語り合いながら、ギター、ピアノ、アコーディオン等の生伴奏で歌います。歌の好きな方ならどなたでもどうぞ。たくさん歌って、たくさん笑えるひとときです。

1月には「元気の出る歌」を大特集。2月には「雪の歌」を特集します。「楽しい声楽」は声楽家(テノール)・小岩井雅人さんをゲストに迎えての1時間です。「ギターで歌おう」では皆さんからのリクエスト曲を伴奏します。お楽しみに...

※歌や演奏が好きな方のゲスト参加・飛び入り参加、大歓迎です。

- ゆうゆう高円寺東館(高円寺南1-7-22/3315-1816)
1月7日(水) 13:30～「丘を越えて／元気の出る歌①」
2月4日(水) 13:30～「雪の歌特集」

- 上井草青葉会(上井草3-33-10/3394-9833)
1月8日(木) 9:30～「丘を越えて／元気の出る歌①」

- サンフレンズ善福寺(善福寺3-27-11/5303-0756)
1月8日(木) 14:00～「丘を越えて／元気の出る歌①」
2月10日(火) 14:00～「小岩井雅人さんの楽しい声楽」

- ふれあいサロン上井草(上井草2-35-2-205/5303-4246)
1月9日(金) 12:00～「ギターで歌おう冬の歌②」
1月30日(金) 12:00～「ギターで歌おう冬の歌③」
2月27日(金) 12:00～「ギターで歌おう冬の歌④」

- 上井草ふれあいの家(上井草3-33-10/3394-9831)
1月13日(火) 14:00～「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
2月5日(木) 14:00～「雪の歌特集」
※同日13:30～家族介護教室「高齢者に対する音楽の効用」

- 大宮ふれあいの家(堀ノ内1-16-38/5377-7025)
1月14日(水) 13:45～「丘を越えて／元気の出る歌①」
1月20日(火) 13:45～「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
2月28日(土) 13:45～「雪の歌特集」
※デイサービス利用者・見学者のみへの公開になります

- 三鷹市ほのぼのネット中原(三鷹市中原一丁目地区公会堂)
1月15日(木) 12:00～「丘を越えて／元気の出る歌①」

- 和泉ふれあいの家(和泉4-40-31/3321-4808)
1月17日(土) 11:15～「丘を越えて／元気の出る歌①」
2月17日(火) 11:15～「小岩井雅人さんの楽しい声楽」

- 方南ふれあいの家(方南1-52-14/5355-0611)
1月17日(土) 13:30～「丘を越えて／元気の出る歌①」
2月14日(土) 13:30～「雪の歌特集」

- 松ノ木ふれあいの家(松ノ木2-14-3/3318-2660)
1月26日(月) 14:15～「丘を越えて／元気の出る歌①」
2月17日(火) 14:15～「小岩井雅人さんの楽しい声楽」

- 善福寺愛の園(善福寺4-20-10/6421-6206)
1月29日(木) 13:30～「丘を越えて／元気の出る歌①」
2月19日(木) 13:30～「雪の歌特集」

- 上井草園(上井草3-33-10/3394-1094)
1月30日(金) 14:00～「丘を越えて／元気の出る歌①」
2月26日(木) 14:00～「雪の歌特集」



※参加ご希望の方は、1週間程度前にそれぞれの会場にお申し込みください。

大正琴杉友流公開講座

1月『富士の山』/2月『雪山賛歌』を弾こう

- ふれあいサロン上井草(5303-4246)
※会場はサンフレンズ上井草(上井草3-33-10)です
1月7日(水)、1月21日(水)、2月4日(水)、2月18日(水)
各日とも10:00～11:30
以降も月2回(第1・3水曜日)に実施。参加費200円/回

- 和泉ふれあいの家(和泉4-40-31/3321-4808)
1月9日(金)、1月28日(水)、2月6日(金)、2月25日(水)
各日とも13:30～15:30
以降も月2回(水・金曜日/開催日は事前周知)に実施。
参加費300円/回

- ゆうゆう高円寺東館(高円寺南1-7-22/3315-1816)
1月21日(水)、2月18日(水) 各日とも13:30～15:00
以降も月1回(第3水曜日)に実施。参加費300円/回

介護者の会

介護についてひとりで悩んでいる人、いらっしゃいませんか?

なでしこの会

1月27日(火)、2月24日(火) 毎月第4火曜日開催
午後1時30分から3時00分

会場: ケア24 上井草(上井草3-33-10 サンフレンズ上井草内/3396-0024)
参加費: 200円/1回あたり(お茶菓子代)

ワイワイクラブ

1月8日(木)、2月12日(木) 毎月第2木曜日開催
午後1時30分から3時30分

会場: 和泉ふれあいの家3階会議室(和泉4-40-31/3321-4808)
参加費: 200円/1回あたり(お茶菓子代)



上井草ふれあいの家で12月に作った手工芸作品です。